

昔話法廷

ねらいと展開

第7話「ヘンゼルとグレーテル」裁判

本時のねらい

- ・被告人のヘンゼルとグレーテルが犯した罪は「強盗殺人」なのか、それとも「単なる窃盗」なのかについて、法廷でのやり取りを多面的・多角的に考察し、公平・公正に判断することができる。
- ・根拠を明確にして自分の考えを適切に表現するとともに、他者の意見に耳を傾けることができる。

展開例 ※()は中高の時間

時間の目安	主な学習活動	指導上の留意点
	1. 授業内容を確認し、番組を視聴する。 ※番組の長さは15分。	
18分	<ul style="list-style-type: none">・今回の授業内容や流れを理解する。・裁判員の1人になったつもりで、中立の立場で番組を視聴する。・番組を視聴しながら、証拠や証言、その他気になったことを「証拠検討表(上部)」にメモする。	<ul style="list-style-type: none">・番組視聴後、裁判員として判決を考え、話し合うことを確認する。・先入観を持たないよう、昔話の内容は説明しない。・法廷でのやり取りだけを根拠にして判断することを確認する。・「証拠検討表」を配付する。・番組を視聴しながら、判決を考える上で根拠になりそうなことをメモするよう指導する。
	2. 裁判の争点を確認する。	
4分	<ul style="list-style-type: none">・裁判の争点は、ヘンゼルとグレーテルの罪が「強盗殺人」なのか、それとも「単なる窃盗」なのかということを確認する。・判決を考える上でポイントとなるのは、2人が魔女を殺した理由が「金貨を奪うため」か、それとも「自分の身を守るため(正当防衛)」かということを確認する。	<ul style="list-style-type: none">・裁判の争点を簡潔に説明する。・強盗殺人罪および窃盗罪の法定刑については、特に説明する必要はない。・法廷で出された証拠や証言をもとに、事実認定を行うという点に焦点を絞るようにする。・写真(HPにアップしてある)を用いて、黒板に登場人物の相関図を示すと分かりやすい。その際は、時間短縮を図るため、事前に黒板に掲示しておくのが望ましい。

時間の目安	主な学習活動	指導上の留意点
	3. 証拠や証言を整理し、自分の考えをまとめる。	
6分	<ul style="list-style-type: none"> 番組視聴中のメモをもとに、証拠や証言、その他気になったことを「証拠検討表(下部)」に整理する。 自分の考え(判決)を決め、その理由を「判決用紙(上部)」に書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 箇条書きで、簡潔に整理するよう指導する。(メモがしっかり書けていれば、時間はかからない) 「判決用紙」を配付する。 判決の理由をしっかりと書くよう指導する。
	4. 自分の考えを発表し、グループで話し合う。	
12分 (17分)	<ul style="list-style-type: none"> グループに分かれ、司会を決める。 1人ずつ、自分の考え(判決と理由)を発表する。 グループで話し合い、「なるほど」と思った意見を「判決用紙(中部)」にメモする。 	<ul style="list-style-type: none"> 発表の際は、結論(判決)を述べてから理由を説明するよう指導する。 他者の意見をメモするよう指導する。 他者の意見をよく聞き、質問や反論をして自分の考えを深めるよう指導する。ただし、相手を言い負かすことが目的ではないことを確認する。 話し合いの途中で意見が変わってもよいことを確認する。 教室内を巡視し、新たな視点を提示するなどして、話し合いが活性化するよう促す。その際に、「論点表」を参考にするとよい。
	5. 話し合いを踏まえ、最終的な自分の考えをまとめる。	
5分	<ul style="list-style-type: none"> 他者の意見も参考にしながら、最終的な自分の考えをまとめ、「判決用紙(下部)」に書く。 時間に余裕がある場合は、何名かが「判決用紙(下部)」の内容を発表し、クラス全体で共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> はじめの判断から考えが変わった人は「考えを変えた理由」を書き、考えが変わらなかった人は「自分とは反対の意見で“なるほど”と思ったもの」を書くよう指導する。